

令和4年度学校経営計画

令和3年度～令和5年度(2年目)

校番	93	学校名	広島県立広島商業高等学校	校長氏名	折田 裕之	全	本校
----	----	-----	--------------	------	-------	---	----

1 教育目標

幅広い教養とビジネスに必要な力を身に付け、社会の発展に貢献できる人財を育成します。

2 育てたい生徒像

- ・主体的に計画を立て、粘り強く実行できる生徒。(Initiative & Self-Reliance)
- ・自分の考えを明確に表現し、他者を巻き込むことができる生徒。(Communication & Collaboration)
- ・課題を発見し、解決のために考え抜くことができる生徒。(Critical Thinking & Problem Solving)

3 中期(3年間)経営目標 ※教育活動その他の学校運営に関する目標

- (1) 将来、活用できる知識・技術等を身に付けさせるとともに、課題解決力を育成する。
- (2) 校訓「誠実・進取」のもと、対人能力(※1)、自己制御力(※2)を養うとともに、主体的に計画を立てて粘り強く実行する力を育成する。
- (3) 使命感にあふれ、新たな価値の創造に挑む教職員集団づくりを目指し、計画的・組織的なカリキュラム・マネジメントの充実を図る。

※1 対人能力 : リーダーシップ, コミュニケーション力, 公共心, 規範意識など

※2 自己制御力 : 意欲, 忍耐力, 自分らしい生き方や成功を追求する力など

4 短期(本年度)経営目標及び行動計画等 ※中期(3年間)経営目標を達成するための本年度の経営目標及び行動計画等

中期(3年間)経営目標

- (1) 将来において活用できる知識・技術等を身に付けさせるとともに、課題解決力を育成する。

短期(本年度)経営目標	本年度行動計画	評価指標	現状値 (前年度)	目標値
各教科の見方・考え方を働かせ、論理的に考察させるとともに、的確に表現できる力を育成する。	本質的な問いを設定するとともに、育成したい資質・能力を見取るルーブリック評価を作成する。(各教科)	パフォーマンス課題の設定及びルーブリック評価の作成	1年次科目 ルーブリック 評価(8教科)、 パフォーマンス課題 (2教科)	2年次 全科目
	1年次及び2年次のビジネス探究プログラムの充実・改善を図る。(商業教育推進部)	ビジネス探究プログラムを指導できる教員の割合	65%	75%

中期(3年間)経営目標

- (2) 校訓「誠実進取」のもと、対人能力、自己制御力を養うとともに、主体的に計画を立てて粘り強く実行する力を育成する。

短期(本年度)経営目標	本年度行動計画	評価指標	現状値 (前年度)	目標値
コミュニケーション力等の対人能力を養うとともに、忍耐力等の自己制御力を養う。	生徒・教職員に取組方法等を周知徹底し、年間無遅刻・無欠席者数の増加を図る。(生徒指導部)	年間無遅刻・無欠席者数	56%	70%

		教育相談体制を確立し、自分の課題に向き合い、自己実現を目指すことのできる生徒を育成する。(生徒育成部)	相談室便り等による認知度	68%	75%
主体的に計画を立てて粘り強く実行する力を育成する。		卒業後の進路を見据え、3年間の学びのストーリーを具体的に描かせ、計画的に実行させる。(進路指導部)	自分のストーリーを具体的に決め、実行できる生徒の割合	—	70%
		前年度実績を踏まえた年間計画を立案させ、主体的に計画を立て、粘り強く実行させる。(生徒育成部)	生徒会行事実施後の主務者の達成度(満足度)	95%	80%

中期(3年間)経営目標 (3) 使命感にあふれ、新たな価値に挑む教職員集団づくりを目指し、計画的・組織的なカリキュラム・マネジメントの充実を図る。					
短期(本年度)経営目標	本年度行動計画	評価指標	現状値(前年度)	目標値	
使命感にあふれ、新たな価値に挑む教職員集団づくりを目指す。	学校全体で、ICTを活用した高度な教育内容の構築に向けた取組を進める。(情報管理部)	Google Workspace を授業で活用している教員の割合	60%	70%	
	業務の効率化、人配の見直し等を行い、教職員の時間外在校時間の縮減に向けた業務改善に係る取組を組織的に推進する。(管理職)	①時間外在校時間月平均 ②定時退校達成率	①30.8h ②90.0%	①30h ②100%	
	ICT関連予算を確保し施設・物品を充実さ、質の高い教育活動を推進する上で必要な設備整備、人的物的資源、経費を確保する。(事務室)	執行予算前年度比 1 割増	96%	100%	
計画的・組織的なカリキュラム・マネジメントの充実を図る。	P T A会報、オープンスクール等を通じて、本校生徒の保護者、中学生及びその保護者に対する広報活動の充実を図る。(総務部)	オープンスクール参加者を対象としたアンケートによる肯定的意見の割合	—	90%	
	研修等を通じて、教科横断的な学習指導の具体的な方策について、教員が明確に理解し授業実践を進める。(教務部)	「実践につなげることができる」とする教員の肯定的評価	—	80%	
	教育上の課題を解決するため学校運営協議会を活用し、学校評価によるカリキュラム・マネジメントを推進する体制を築く。(主幹教諭)	学校運営協議会による学校評価「A」の割合	67%	75%	

令和4年度三つの方針

広島県立広島商業高等学校 全日制課程（情報ビジネス科）	
1 教育目標	
幅広い教養とビジネスに必要な力を身に付け、社会の発展に貢献できる人財を育成する。	
2 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）	
・主体的に計画を立て、粘り強く実行できる生徒。 (Initiative & Self-Reliance) ・自分の考えを明確に表現し、他者を巻き込むことができる生徒。 (Communication & Collaboration) ・課題を発見し、解決のために考え抜くことができる生徒。 (Critical Thinking & Problem Solving)	
3 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	
生徒の「個別最適な学び」を推進する教育課程を編成する。 ・商業の専門科目によってビジネスで必要な基礎知識を学ぶ。 ・生徒の多様な進路希望や適性に即した学びの選択を可能とするために、1 学年では共通的な内容を履修し、2 学年では選択履修等を行う。 ・共通教科等における探究的な学びを充実させ、生徒の多様な進路希望に対応するために複数の「選択群」を設置する。 ・変化の激しい社会に柔軟に対応し、高度情報通信社会で活躍するための技術を習得させるプログラミング教育を充実させる。 ・外部機関との連携強化し、高度な知識・技術を身に付けさせるために、教科の枠を超えた学びを充実させるための「フレックス・タイム」を設置する。	
4 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）	
本校は、幅広い教養とビジネスに必要な力を身に付け、社会の発展に貢献できる人財を育成することを目標とし、次のような生徒を求めています。 ・基礎学力を備え、ビジネス教育に興味・関心を持って主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・失敗を恐れず、何事にも果敢に挑戦しようとする生徒 ・将来の夢の実現のために学習活動、スポーツ・文化活動にも積極的かつ継続的に取り組むことができる生徒	